

古文書班 古文書の整理と公開

当館は
鳥羽院(平安時代)の
下文(重要文化財)や
足利尊氏(鎌倉-室町時
代)の書状、武田信玄
(晴信)の感状(戦国時代)
徳川家康の書状といった
古文書を所蔵して
います※

※常設展示や
閲覧対応は
していません

いずれも
長野県内(信濃)の
僧侶や武士、豪族
に対して送った
ものです

このように
有名な武将の
ものはもちろん
貴重です
でもね

農村や
町に住む
人々の暮らしが
わかる「地方文書」
といった古文書も
とても大切な
ですよ

それって
どんなもの
があるの?

藩の通達や
人々の願書、訴状、
祭礼、普請、婚姻、
金の貸借に関する
書付等が多いの
ですが

その中には
問屋を務めた
家に残っていた
荷物の内容や
勘定書などの
帳簿とか

名主が記録した
浅岡山の噴火・洪水・
地震など自然に
関するものも
ありますよ

昔のようすが
わかるってどう?

古文書愛好会には
草書体(くさしり)や
変体仮名など古文書を
一次解読してもらい
粗目録を作っ
ていただいています

また整理ボラン
ティアの皆さんには
史料データの入力、
ラベル貼付といった
お手伝いをお願い
しています

当館閲覧室の
目録やホームページ
から、自分の見たい
古文書を探し
閲覧申請をすれば
本物に触れる
ことができます

30万:
スゴイね

数十年
かかっている
ことですよ

公開業務の
下支えをして
くださっているのは
古文書愛好会や
整理ボランティアの
皆さんです

感謝

当館の
古文書班の
職員3名は
長野県関係の
地方文書などの
古文書を解読し
整理して閲覧(公開)
できるように
しています

年間では
1万点以上の
目録(データベース)
づくりを行い

現在では
30万点以上を
公開しているんですよ